

「世界に触れる」

経営学部 3 年 Y・I さん

1, 参加しようと思ったきっかけ

私は以前から国際関係に興味があります。なぜならば、世界には自分の住む日本とは違う環境や文化のなかで生活している人がはるかに多いからです。私たちは日本での生活を当たり前として生きていますが、日本から出てみると新たな発見が沢山あると思います。それなのに海外に目を向けないのはもったいないことだと思うのです。なので、このようなキャンプをきっかけに自分の中の常識から離れて、自分と同じアジア圏の学生と触れ合い新たな気づきを得られる良いチャンスだと思い参加しました。

2, 現地の生活について

今回は、フィリピンにタイ、マレーシア、台湾、香港、日本の大学に所属する約 50 名の学生とともに参加しました。現地フィリピンの大学に通う学生とそれ以外の国々からの参加学生で 2 人 1 組のバディ制がとられ、ペアで生活や学習の様々な面を助け合っていました。正直初めの日々は、私は英語が得意ではないので今回のプログラムには楽しみな思いがある一方で不安な気持ちがとても大きかったです。やはり、最初は上手く聞き取れないし分からないことだらけでした。しかし、私のペアであるフィリピン人の女の子が常に自分を気にかけてくれたり、他のメンバーも話しかけてくれたりして徐々に不安はなくなり、気が付くと楽しんでいる自分がいました。

3, 現地での印象的なエピソード

日本の大学での授業の多くは、先生が一方的に授業をし、学生が受け身である場合が多いと思います。しかし、どの国のメンバーも自分の意見や質問があれば、みんなの前だからと恥ずかしがることはせずに、堂々と意見を述べるのです。私はそういうことの出来る人は一部の人だろうと思っていました。しかし、今回参加していたメンバー全員が話し合いの問題点を常に自分のこととして考え、誰でもすぐに自分の意見を形にできることに私は驚きました。また、どの国の人も英語を母語のように使いコミュニケーションをとることが出来ました。そのため国関係なく、すぐに友達になっていたのが印象的です。言葉が通じればバックグラウンド(国、文化、宗教、年齢など)が違っても心を通わせることができるのだなと実感しました。

4, 帰国して考えたこと

もっともっと外の世界を知りたいと思うようになりました。今回はアジア圏の学生が集まりましたが、世界はもっと広いです。今後はより英語の勉強に力を入れ、このような機会があればまた挑戦していきたいと思います。

5, これから留学する人へのアドバイス

UMAP は東南アジア地域の学生の国際交流を促進する組織です。なので、日本で暮らす私たちにとって比較的挑戦しやすいのでは無いかと思います。ヨーロッパやアメリカ圏よりは、生活環境や文化も近いため、初めて海外に出る人にとっては良い機会だと思います。また、頭でいろいろ考えていこうかどうか迷うよりも、ひとまずやってみることが重要だと感じました。私自身、英語が得意でないことや海外にいったことがあまりないことを考えると不安でしたが、とりあえず応募してみてから考えよう！というくらいの心持で参加しました。結果的に多くの貴重な体験を出来、参加して良かったと思っています。